

J Cの三信条

TRAINING (修 練)

地上最大の宝は個々の人格にあり。

SERVICE (奉 仕)

社会への奉仕は人生最大の仕事である。

FRIENDSHIP (友 情)

友情は国家主権に優先する。

トレーニング = 個人の修練

サービス = 社会への奉仕

フレンドシップ = 世界との友情

1950年5月1日に、現在の日本青年会議所の前身であるJ C懇談会の中で、J C運動の行動綱領としてこの三信条が採択された。

この三信条の意は、J C運動とは、若い人々が集まって自己啓発・トレーニング（修練）を行う場であり、培われた力を用いて地域社会にサービス（奉仕）することである。そして、そのトレーニング・サービスを支える力として、会員全員、同志を貫くフレンドシップ（友情）がある、というものである。